

科目名: <b>心理学実験演習Ⅱ</b>		科目コード	EK13		
科目主査: <b>松原 詩緒</b>		担当講師: <b>阿部 廣二、田中 美歩、永山 祐輔、 長澤 里絵、末崎 裕康、松原 詩緒、 山田 竜平</b>	単位	2	
授業の目的と概要		グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	配当年次	4
心理学の研究では、客観的なデータを収集・分析することが求められます。本科目では基礎的な心理学実験および調査を実施し参加するとともに、収集したデータを用いてレポートを執筆することで、心理学的な測定方法やデータ解析、科学レポートの作成方法、研究倫理について学修します。					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名: 単位の修得を前提にはしませんが、心理学研究法・心理学統計法の2科目の内容を十分理解したうえで履修してください。			
履修の前提となる知識 その他特記事項	調査法、実験法、論文執筆、統計の基礎を確認しておいてください。				
テキスト	『よくわかる心理学実験実習』村上 春奈・山崎 浩一、ミネルヴァ書房、2018年 ※テキストはスクーリング受講許可者に配布します。なお、心理学実験演習Ⅰ・Ⅱは同一テキストのため、2科目を履修登録しても1冊しか配布されません。				
この科目の到達目標	①心理学における基礎的な用語を理解し用いることができる。 ②心理学研究における手続きが理解でき、説明できる。 ③客観的視点に基づいた科学レポートの執筆ができる。				
成績評価の方法	授業態度と3つのレポートにより評価します。				
事後学習	授業で実施した3つの調査や実験について、心理学における標準的レポートを執筆してください。				
事後学習の参考文献	『心理学実験法・レポートの書き方』西口 利文・松浦 均、ナカニシヤ出版、2008年 『心理学実験を愉しむ』宮原 英種・宮原 和子、ナカニシヤ書店、2003年				
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具(シャープペンシル、消しゴム、水性ペン) <input checked="" type="checkbox"/> 定規					